

令和3年度嶺北地域アクションプランの  
追加、削除、拡充等（予定項目）

嶺 北 地 域 本 部

令和3年2月18日（木）



# 令和3年度地域アクションプランの追加、削除等（予定項目）

## 地域アクションプランへの支援の方向性

### (1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーにより、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし（R2～新規）
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

### (2) 地域への経済波及効果の大きい案件の課題解決に向けた支援の強化

- ①課題一貫支援型アドバイザーにより、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援（R2～新規）
- ②課題解決型アドバイザーにより、個別課題の解決を支援

## 地域アクションプラン数 R2年度 217件 → R3年度 223件（+6）

	R2年度	R3年度				A P 数
	A P 数	増減			A P 数	
		追加	削除	統合・分割		
安芸	31			▲ 1	▲ 1	30
物部川	25	1			1	26
高知市	24		▲ 1		▲ 1	23
嶺北	25					25
仁淀川	33	1			1	34
高幡	37	4			4	41
幡多	42	2			2	44
合計	217	8	▲ 1	▲ 1	6	223

○地域産業クラスタープロジェクト R2年度 18件 → R3年度 19件（+1）

# 嶺北地域アクションプラン項目（第4期計画（R2年度）と第4期

No.	現在(令和2年度)	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		15	14	12	10
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	JA出資型法人(㈱れいほく未来)を核とする地域活性化の取り組み	●	●	●	●
3	ブランド米「天空の郷」の販売促進	●			
4	直販所「さくら市」を核とした地域活性化	●			
5	銀不老による地域活性化の取り組み		●		
6	本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト	●			
7	㈱大豊ゆとりファームを核とした地域産業を持続化させる取り組み		●		
8	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
9	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
10	嶺北地域における林業クラスター化の取り組み	●	●	●	●
11	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)をはじめとする嶺北材の促進	●	●	●	●
12	嶺北地域内のシソ・ユズの活用による地域振興	●			
13	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
14	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取り組み	●			
15	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
16	嶺北材を生かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
17	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化			●	
18	ジビエを活用した新たな商品開発と販路拡大		●		
19	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
20	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
21	嶺北地域における山岳観光の推進				●
22	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
23	集落活動センター西峯におけるビジネス創出による地域活性化の取り組み		●		
24	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取り組み			●	
25	集落活動センター汗見川による地域活性化の取り組み	●			

# 計画Ver. 2 (R3年度) の対比表

【嶺北地域】

本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村	No.	改定案(令和3年度)
15	14	12	10		
●	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
●	●	●	●	2	JA出資型法人(㈱れいほく未来)を核とする地域活性化の取り組み
●				3	ブランド米「天空の郷」の販売促進
●				4	直販所「さくら市」を核とした地域活性化
	●			5	銀不老による地域活性化の取り組み
●				6	本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト
	●			7	㈱大豊ゆとりファームを核とした地域産業を持続化させる取り組み
●	●	●		8	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
			●	9	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
●	●	●	●	10	嶺北地域における林業クラスター化の取り組み
●	●	●	●	11	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)をはじめとする嶺北材の促進
●				12	嶺北地域内のシソ・ユズの活用による地域振興
●	●	●	●	13	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
●				14	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取り組み
	●			15	基石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		16	嶺北材を生かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
		●		17	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化
	●			18	ジビエを活用した新たな商品開発と販路拡大
●	●	●	●	19	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
●	●	●	●	20	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
			●	21	嶺北地域における山岳観光の推進
●	●	●	●	22	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
	●			23	集落活動センター西峯におけるビジネス創出による地域活性化の取り組み
		●		24	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取り組み
●				25	集落活動センター汗見川による地域活性化の取り組み



## 嶺北地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

### ■追加

該当なし

### ■削除

該当なし

### ■その他（拡充、統合、分割）

該当なし

# 修正項目（案）

修正前

嶺北地域アクションプラン		分野	観光
AP名 (実施地域)	No.19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 (嶺北地域全域) ※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスタープロジェクト）		
実施主体	◎土佐れいほく観光協議会、本山町、大豊町、土佐町、大川村		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	観光を軸として、吉野川の水源地域における豊富な地域資源や特色のある取り組みなどを横断的につなぐ広域観光の推進により、「れいほく」の魅力をグレードアップさせるとともに、一元的な情報発信や教育旅行の誘致を通じて、交流人口の拡大と経済の活性化を図る。		

指標	出発点	実績				目標
		R2	R3	R4	R5	R5
(1) 主要観光施設の入込数	284,813人 (H27~29平均)					391,000人
(2) 主要宿泊施設宿泊者数	14,577人 (H27~29平均)					25,000人
(3) 民泊受入世帯数	89世帯 (H30)					120世帯

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>広域観光推進体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会の設立（H22）</li> <li>・大学等と連携した旅行商品の磨き上げの取り組み（H22～29）</li> <li>・広域観光パンフレットの作成（H22～）</li> <li>・広域で連携したイベント(土佐の豊穰祭 in 嶺北)の開催（H23～）</li> <li>・ガイド研修、モニターツアー等の実施（H22～）</li> <li>・広域観光組織の機能強化に向けた視察研修の実施（H28）</li> <li>・土佐れいほく博推進協議会を設立（H30.3月）</li> <li>・土佐れいほく博公式ホームページやSNS、テレビ等メディアを活用した嶺北地域の情報発信(H30、R元)</li> <li>・土佐れいほく博観光コーディネーターによる旅行会社へのセールス、観光商品の磨き上げ（H30、R元）</li> <li>・土佐れいほく博終了後の広域観光の推進に向けた協議の実施（R元）</li> </ul> <p>◆<b>教育旅行の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社等への教育旅行のセールスの実施(H27～)</li> <li>・教育旅行の受け皿となる民泊の研修会の実施(H25～)(H28：3回、H29：2回、H30：11回)</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆大原富枝文学館入込数 H24~27平均：1,268人 → H30：5,041人</li> <li>◆教育旅行受入件数 H28：5校164人 → H30：15校972人</li> <li>◆土佐れいほく博の開催（R元.7~12月） 主要観光施設入込客数(R元.7~11月)：130,183人(対前年同期比：111%) 主要宿泊施設宿泊者数(R元.7~11月)：8,110人(対前年同期比：135%) ツアー催行本数(参加人数)(R元.4~12月)：60本(1,406人)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化及び人材確保</li> <li>・土佐れいほく博で得た成果の継続・発展</li> <li>・教育旅行の受入拡大</li> </ul>



## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆ 広域観光推進体制の強化	新たな広域観光組織の体制整備		組織体制・機能の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 広域観光組織の体制整備、事業戦略の策定、事業実施に必要な人材の確保</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村、新たな広域観光組織： 新たな広域観光組織での計画に基づく戦略的な取り組みの推進</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		
嶺北地域が一体となったプロモーションの展開、セールス活動					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 4町村が一体となった広報PR、セールス活動、HP、SNS等を通じた嶺北地域の情報発信</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>					
◆ 教育旅行の推進	推進方針の検討		教育旅行の広域化の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 広域観光組織の体制整備と合わせた今後の教育旅行(民泊等)推進方針の検討</li> <li>● 県（地域本部等）： コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 推進方針に基づく取り組みの実施</li> <li>● 県（地域本部等）： アドバイザーの派遣による支援、関係機関への情報提供</li> </ul>		
	教育旅行の受け皿となる民泊等の推進				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大豊町： 地域の活動者等との連携による研修会の実施、旅行会社等へのセールスの実施</li> <li>● 県（地域本部等）： 関係機関との橋渡し、情報提供</li> </ul>					
<p>【用語】・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的なSNSとしては、Facebook などがある。</p>					

分野	観光
----	----

AP名 (実施地域)	<b>No.19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大</b> (嶺北地域全域) ※地域産業クラスター関連 (嶺北畜産クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)土佐れいほく観光協議会、本山町、大豊町、土佐町、大川村
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	観光を軸として、吉野川の水源地域における豊富な地域資源や特色のある取り組みなどを横断的につなぐ広域観光の推進により、「れいほく」の魅力をグレードアップさせるとともに、一元的な情報発信や教育旅行の誘致を通じて、交流人口の拡大と経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 主要観光施設の入込数	284,813人 (H27~29平均)	333,608人		391,000人
(2) 主要宿泊施設宿泊者数	14,577人 (H27~29平均)	23,691人		25,000人
(3) 民泊受入世帯数	89世帯 (H30)	86世帯		120世帯

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>広域観光推進体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会の設立 (H22)</li> <li>・大学等と連携した旅行商品の磨き上げの取り組み (H22~29)</li> <li>・広域観光パンフレットの作成 (H22~)</li> <li>・広域で連携したイベント (土佐の豊穰祭 in 嶺北) の開催 (H23~)</li> <li>・ガイド研修、モニターツアー等の実施 (H22~)</li> <li>・広域観光組織の機能強化に向けた視察研修の実施 (H28)</li> <li>・土佐れいほく博推進協議会を設立 (H30.3月)</li> <li>・土佐れいほく博観光コーディネーターによる旅行会社へのセールス、観光商品の磨き上げ (H30、R元)</li> <li>・公式ホームページやSNS、テレビ等メディアを活用した嶺北地域の情報発信 (H30~)</li> <li>・(一社)土佐れいほく観光協議会を設立 (R2.12月)</li> <li>・(一社)土佐れいほく観光協議会の事業戦略策定 (R2)</li> <li>・マーケティング機能の構築 (来訪者への満足度等のアンケートの実施等) (R2)</li> </ul>	<p>◆<b>教育旅行の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社等への教育旅行のセールスの実施 (H27~)</li> <li>・教育旅行の受け皿となる民泊の研修会の実施 (H25~)</li> <li>・広域での教育旅行セールスツールの作成 (R2)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <p>◆大原富枝文学館入込数 H24~27平均：1,268人 → H30：5,041人</p> <p>◆教育旅行受入件数 H28：5校164人 → R元：15校1,022人</p> <p>◆土佐れいほく博の開催 (R元.7~12月) 主要観光施設入込客数 (R元.7~12月)：159,218人 (対前年同期比：109.1%) 主要宿泊施設宿泊者数 (R元.7~12月)：11,515人 (対前年同期比：134.8%) ツアー催行本数 (参加人数) (R元.4~12月)：60本 (1,406人)</p> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化</li> <li>・教育旅行の受入拡大</li> </ul>

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
<b>◆ 広域観光推進体制の強化</b>	新たな広域観光組織の体制整備		組織体制・機能の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 広域観光組織の体制整備、事業戦略の策定、事業実施に必要な人材の確保</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村、(一社)土佐れいほく観光協議会： (一社)土佐れいほく観光協議会での計画に基づく戦略的な取り組みの推進</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		
嶺北地域が一体となったプロモーションの展開、セールス活動					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 4町村が一体となった広報PR、セールス活動、HP、SNS等を通じた嶺北地域の情報発信</li> <li>● 県（地域本部等）： 補助事業による支援、コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>					
<b>◆ 教育旅行の推進</b>	推進方針の検討		教育旅行の広域化の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 広域観光組織の体制整備と合わせた今後の教育旅行(民泊等)推進方針の検討</li> <li>● 県（地域本部等）： コーディネーターやアドバイザーの派遣による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嶺北4町村： 推進方針に基づく取り組みの実施</li> <li>● 県（地域本部等）： アドバイザーの派遣による支援、関係機関への情報提供</li> </ul>		
教育旅行の受け皿となる民泊等の推進					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大豊町： 地域の活動者等との連携による研修会の実施、旅行会社等へのセールスの実施</li> <li>● 県（地域本部等）： 関係機関との橋渡し、情報提供</li> </ul>					
<p>【用語】・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的なSNSとしては、Facebook などがある。</p>					